

古来 人間には
二種類あるという
“修行者”と“それ以外”
両者の間に流れるといわれる
黄金の河

India
第14回 コルカタ
世界映画祭2025
ベストドキュメンタリー賞受賞

Paris
GANGE SUR SEINE 2025
Festival De Cinema Indian
ベストドキュメンタリー賞受賞

第29回
あいち国際
女性映画祭2024
招待作品

India
JAGARAN FILM
映画祭
招待作品

United Kingdom
London International
Filmmakers Festival
ノミネート

東京ドキュメンタリー
映画祭2025
長編コンペティション部門
入選

Parvathy Baul

Cross the Golden River

パルバティ・バウル

黄金の河を渡って

監督・制作:阿部櫻子 出演:Parvathy Baul Kanai Das Baul Biswanath Das Baul Debdas Baul Meera Dasi 梶原徹也 阿部一成 音楽:
Parvathy Baul 梶原徹也 阿部一成 撮影:大谷耕太郎 阿部櫻子 村松辰哉 ナレーション:阿部櫻子 編集:阿部櫻子 田中藍子 歌詞翻訳:Parvathy
Baul Tomomi Paromita Sanatan Siddhashram Sevak Erick Gibson Sakurako Abe Saraswati Yogini ベンガル語&ヒンディー語翻訳:Tomomi
Paromita Sakurako Abe Sudip Singha 英語翻訳:Tomomi Paromita Erick Gibson Sakurako Abe Woodcuts & Paintings: Parvathy Baul
(Sanatan Siddhashram) Ravi Gopalan Nair (Ekathara Kalari) イラスト:伊藤武 録音:甲斐隆幸 大谷耕太郎 サウンドデザイン&ミックス:吉田茂一
カラーグレーディング:織山臨太郎 字幕デザイン:藤井遼介 Sanatan Das Footage Courtesy: Charles Steiner/Vagabond Video Provide Materials:
CACTUS Co.,Ltd Pixta Co.,Ltd 1/3 さいたま市教育委員会 宣伝美術:島田薫 制作協力:美竹遊民舎 渡辺美智子 制作著作:サキプロ2024 日本 109分

パウルという行者としての生き方を選んだバルパティさん。ほんの一瞬ではありますが、熊野那智の瀧の前でのご奉納をはじめ、その祈りに捧げた人生に触れさせていただきました。そこで感じたのは、不思議な異空間と宇宙的ともいえる人種、民族、国家を超えた人類共通の祈りでした。このドキュメンタリーによって多くの方の祈りと共鳴することを信じています。

梶原徹也

元THE BLUE HEARTSメンバー

霊性の中で、世俗や混沌を赤裸々に 曝け出すような歌の響き。愛の中に、悲しみや憎しみを抱きかかえ 紐解くような瞳の深さ。バルパティがこちらを見つめて離さない。わたしの心は卵になって 新しい鼓動がこだまする。

中納良恵

EGO-WRAPPIN'

物質主義の権化のような権力者たちの横暴に、今多くの世界の人々がどうにも出来ない不安と危うさを感じている。しかし聞こえてくるバルパティの清らかに澄んだ歌声に、若い頃よく訪れていた頃の私の大好きなインドの美しい情景と人々の優しさがよみがえってくる。同時に、世界はまだ捨てたものではないという勇氣も湧いてくるから不思議である。

榎木孝明

俳優

修業としての音楽。しかも複数の宗教の要素を組み入れたもの。グルから弟子に1対1で継がれるパウルの歌をコンサートで聞くと明らかに「パフォーマンス」とは違う体験ですが、不思議な魅力を放つバルパティ・パウルがたどってきた道をこの淡々とした映画で追って行くとそのユニークな世界が見えてきます。

ピーター・バラカン

ブロードキャスター

数少ない女性パウルのバルパティがインドから来日し、各地でパウルの修行をした。この映画はインドと日本の二つの宗教性が生き生きとクロスした貴重な記録だ。彼女の姿は凛としていて、美しく力強い。そして、どこまでも軽やかだ。その存在感は、混沌の現代を生きるわれわれがすっかり忘れていて、大切なことを思い出させてくれる。

藤田一照

曹洞宗僧侶

パウルは8世紀からインド・ベンガルに受け継がれる“修行”の伝統をもつ吟遊行者。彼女が発する“歌ごえ”は、修行に裏打ちされた“いのちの顕れ”。渡河した者だけが知る豊穡な世界の在り処を、彼女はその“歌舞”から示してくれる。圧倒的な存在感と響く歌ごえ、それはひと筋の光となって私たちの心を照らし出す。



パウルとは？



パウルとは、インドの西ベンガル州と Bangladesh の吟遊行者のこと。托鉢をしながら、独特の哲学を反映した歌をうたい、舞い踊る人々だ。しかしパウルは人前で歌いながらも、芸能者ではなく、あくまでも歌や舞を術とした「修行者」。

16歳の時に突然、あるヴィジョンを見て「パウル」と呼ばれる吟遊行者の道に入ったバルパティ・パウル。パウルとは、インドの西ベンガル州と Bangladesh の吟遊行者のこと。托鉢をしながら、独特の哲学を反映した歌をうたい、舞い踊る人々だ。しかしパウルは人前で歌いながらも、芸能者ではなく、あくまでも歌や舞を術とした「修行者」。

あらずじ インドで30年近く修行の道を歩んできたバルパティが、2023年11月、来日し、3週間にわたる奉納演奏を行なった。「歌をうたう」「舞う」などについて、「芸能者」としてではなく「修行者」としての独特の考えを明らかにしていく。インド・Bangladesh・日本・アメリカにバルパティ・パウルを取材し、渡河した者だけが知る「いのち在り処」を探る旅。



サキプロ

sakhipro@deepdan.com
<https://www.sakhipro.com>

